

9月二宮小学校便り



令和元年
9月30日発行

2学期が始まりました。学校に活気がもどり、子どもたちの元気な声が校内に響いています。

今年の2学期のスタートは、厳しい残暑に悩まされました。空調の設置されている教室を学年やクラスで交替して使用したり、外で遊ぶ際には帽子を着用したりと、熱中症を心配しながらの生活でした。

9月半ばを過ぎてからようやく暑さも一段落し、秋の訪れを感じています。子どもたちが落ち着いた生活を送ることができるよう、学校全体で取り組んでいきたいと思っています。

第1回「にのプロミニ」

1学期は、1年生から6年生までの班全体で交流する「にのプロ」が行われました。今回は、「にのプロミニ」です。9月11日は1年生と4年生、18日は3年生と5年生、20日は2年生と6年生のように、2学年での交流でした。このように、各班で交流する学年を少なくすることによって、より深く仲良くなる、各班での主体性(特に4年生と5年生)を育てることをねらいとしています。



交流の内容は子どもたちに任されます。教室でのカルタ、だるまさんがころんだ、けん玉、体育館でのフラフープ、校庭で

のおにごっこなど様々でした。

次回の「にのプロミニ」は、交流する学年のペアを替えて1月に実施する予定です。

第2回学校運営協議会

8月30日に第2回学校運営協議会が開かれました。当日の協議ですが、地域の学校教育に対する協力のし方や協力できる内容等が主なものでした。

現在でも、安全見守り、教室環境整備、学習支援の3点について、多くの地域の方にご協力いただいています。その上で、今後、学校と地域とがさらに協力して子どもたちの成長に関わっていくために、まずは地域の新たな人材を把握し、整理していくこととなりました。

今後の運営協議会の内容ですが、地域の人材を把握した上で、現在協力いただいている3点をどう充実させていくか、協力していただく新たな面はあるのかを考えていく予定です。

9月の学習から

4年生の総合「私たちにできることを考えよう」について紹介します。右の写真は、二宮町の社会福祉協議会の方々に協力をいただいている学習の様子です。9月19日は、シニアカーと車椅子で生活されている方からお話を聞き、車椅子に乗って移動する大変さについて体験しました。また、25日は、目の不自由な方からお話を聞き、その後、ガイド役とアイマスクをつけて白杖を持って歩く役とに分かれての体験を行いました。ガイド役の子は、段差が近づくことや曲がる箇所を正確に教えることが難しそうでした。



この福祉の学習は1学期から続いています。6月は、認知症についてのお話を聞いたり、高齢者体験として、足首やひざ、ひじにおもりをつけて歩いたりしました。また、視野が狭くなるアイマスクや聞こえにくくなる耳当てをつけて歩くという体験も行いました。



実際に話を聞いたり、体験したりすることを通して学べるがたくさんあります。この学習で感じ取った学びを大切にしてほしいと思います。

9月9日(月)の出来事です。この日は、台風の影響が残っていたため、1時間遅れでの登校でした。何人かの職員が、校庭に散らばっている葉や枝を掃除していたところ、登校してきたある子が「先生、手伝いましょうか。」と自分から声をかけ、はき掃除を手伝ってくれました。私は校外に出ていたため、その場面を目にすることはできませんでしたが、その職員は感激して私に話してくれました。

奉仕の姿勢や自分で考え行動しようとする姿が育っていることを大変うれしく思います。

また、児童を送りに来られた保護者の方にもお手伝いいただき助かりました。どうもありがとうございました。

